

図書案内

改 訂

条 鋼 マ ニ ュ ア ル — 形 鋼 編 —

日本鉄鋼協会共同研究会条鋼部会編

B 5 判 170 頁 定価 会員 2,500 円 非会員 3,500 円 (いずれも送料別)

条鋼マニュアル(形鋼編)は、形鋼製造に従事する方をはじめ、販売にたずさわる方、購買される方、あるいはファブリケーターの方など、広く形鋼に関連する方々に、圧延形鋼を理解していただくことを目的としてわかりやすく編集されております。初版を昭和 47 年発行し、広く利用されてまいりましたが、その後石油危機を転機として、諸情勢が大きく変り、ここに改訂版を発行いたしました。

(内 容)

- | | | |
|------------------|-------------------|----------------------|
| 1. 鉄鋼製造の概要 | 3.11 その他の形鋼 | 5.2 形状・外観の品質と管理 |
| 1.1 製鋼設備と製鋼作業 | 3.12 形鋼の 2 次加工品 | 5.3 材質検査 |
| 1.2 鋼片製造法 | 3.13 特殊用途に用いられる鋼 | 5.4 形鋼の規格 |
| 2. 鉄鋼の諸特性 | 4. 形鋼の製造工程ならびに設備 | 5.5 形鋼の溶接性 |
| 2.1 普通鋼の性質 | 4.1 製造工程概要 | 5.6 H 形鋼の施工法 |
| 2.2 鉄鋼中の合金元素 | 4.2 素材 | 5.7 鋼矢板の施工性 |
| 3. 形鋼製品の種類と用途 | 4.3 加熱設備 | 5.8 耐候・耐食性 |
| 3.1 H 形鋼 | 4.4 圧延設備 | 5.9 高温および低温特性 |
| 3.2 等辺山形鋼 | 4.5 切断作業 | 5.10 表面処理性一めつき性一 |
| 3.3 不等辺山形鋼 | 4.6 冷却設備 | 6. 取引方式および取引の場合の注意事項 |
| 3.4 不等辺不等厚山形鋼 | 4.7 精整設備 | 6.1 国内取引 |
| 3.5 溝形鋼 | 4.8 検査 | 6.2 輸出取引 |
| 3.6 レールおよびレール付属品 | 4.9 表示・結束 | 7. 用語の解説 |
| 3.7 I 形鋼 | 4.10 出荷 | 8. 統計資料 |
| 3.8 T 形鋼 | 5. 形鋼の品質水準およびその管理 | |
| 3.9 鋼矢板 | 5.1 概要 | |
| 3.10 球平形鋼 | | |

申込方法 次のいずれかの方法でご送金願います。

・現金書留 ・郵便振替(東京 7-193 番)・銀行振込(第一勧業銀行・東京中央支店(普) No. 1167361)

問い合わせ先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階

日本鉄鋼協会庶務課 水野 電話 (03) 279-6021

編集後記

先月に続き今月もチタンおよびチタン合金小特集を含む編集としました。先月号の 19 件中 5 件に比し、今月は 21 件中 9 件と大幅に比率が増大しております。

編集委員会に携わることになった当初には、直接には関与することの少ない鉄鋼について勉強ができることを期待したものであった。ところが、自身の分野のチタンが「鉄と鋼」に掲載されるという本誌のこの変貌は有難いと同時に、現在の産業全般の流動的な状況下において、当協会誌が柔軟に対応していることを物語るものとして、あらためて感慨深い。前年からの新部門である萌芽・境界技術部門領域のセラミックス、複合材料等に関する論文等の寄稿が今後行われることが期待される。

米国の金属関係の学協会誌としては Metallurgical Transactions が当協会の関連としては有力であるが、Metall. Trans. には材料およびプロセスとして鉄鋼お

よび各種の非鉄材料が対象となっている。この例に向けて本誌は昨今より動いているのであろうか？

Metall. Trans. の生まれる母体の一つであつたところの Trans. Metall. Soc. AIME には昔から鉄および非鉄の各種金属材料が取り扱われていたが、その協会員は広範な業界に渡っているのが当然ともいえる。この点「鉄と鋼」の新しい傾向は内部発生的変貌である点が注目になる。それは企業を例にとれば旧分野からの踏み出しであり、米の相当する企業の対応と対照的といえる。そこでは旧分野の近代化合理化に今となって精力が注がれ、こちらでは同一主体による新分野事業の急速な拡大が企画されている。米なら新企業が手掛けるのを、こちらでは現企業が対応する。

これに呼応し、本誌の限りなきリフレッシュに向け、会員各位の広範囲にわたる多数のご投稿をお願い申し上げます。(Y.O.)